

企業と大学生が協働し、
持続可能な社会に向けた解決策を大研究!

あいちの「人づくり」プロジェクト!



かがやけ★ あいちサステイナ研究所



かがやけ★あいちサステイナ研究所とは

未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業から提示された環境面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が現場での調査や企業担当者とのディスカッションを実施します。解決策を企業側に提案し、その成果を広くPRします。

パートナー
企業



課題提示



解決策提案



かがやけ★
あいちサステイナ研究所

所長

愛知県知事
大村秀章

研究員

39名の
大学生



活動を
広く発信



大学・イベント等での発表
公式WebページやSNS



2021年度パートナー企業(五十音順)



8月8日(日・祝)

開所式



企業・ファシリテーター・研究員全員で顔合わせ。
活動のキックオフ!

8月10日(火)

基礎講座



環境問題やSDGsの基礎を学ぶ講座を受講!
昨年度の修了生の貴重な経験談も聴講。

8月中旬～10月

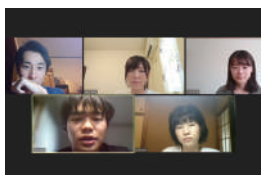
企業の課題研究



チームで企業を訪問。環境取組の現場調査、
企業担当者とのディスカッションを実施。

9月下旬～12月上旬

チームミーティング



企業研究後、チーム内で振り返りや企画立案を実施。

11月6日(土)

中間発表会



研究成果を中間発表。
成果発表会に向けて、発表内容をブラッシュアップ。

12月12日(日) 成果発表会・修了式

各チームの活動

チーム・豊島



創業180年のライフスタイル商社・豊島で、2015年にプロジェクトの産声を上げた「FOOD TEXTILE」。カット野菜の切れ端や形の不揃いな規格外の食材などを食品関連企業や農園から買い取り、それらを染料にして生地を染め上げるサステナブルなプロジェクトブランドです。食品とアパレル業界の架け橋として食品ロスの削減に貢献し、より良い地球環境を創造していく「FOOD TEXTILE」を効果的にPRする方法を検討します。

チーム・SALA



サラグループは、「私のまちにSALA、暮らしとともにSALA」を掲げ、個人の暮らしからまちづくり、社会インフラの整備など地域の暮らしに至る領域で、お客様の安全、安心、快適を実現する商品・サービスを滞ることなく提供することを目指しています。持続可能な社会の実現に貢献し、暮らしを豊かにするサービスを検討します。

チーム・コマダ



コマダでは、品質向上や収穫量増加のための技術支援をしているオラム社からコーヒー豆を調達することで、お客様がくつろぎながら飲む一杯のコーヒーがコーヒー生産者の豊かで安定した暮らしにつながる取組を行っています。この取組に並ぶような、コマダに来るだけで無意識に環境や社会に貢献できる商品やサービスを検討します。

チーム・よしもと東海 吉本興業株式会社



吉本興業は、国際社会の一員としてSDGsに賛同し、「笑顔につなげる活動を通じて、より良い国際社会の実現に貢献・応援」をコンセプトに、SDGsをテーマにした漫才や啓発動画で、SDGsに関心を持って頂く活動に取り組んでいます。環境問題、社会問題など、SDGsが掲げる17の目標を、分かりやすく楽しく、笑って学べる体験型プログラムを検討します。

チーム・日本ガイシ



「100年前から、SDGs発想。」日本ガイシは、1919年の会社創立より一貫して暮らしや産業の発展を支え続けるとともに、地球環境の保全に貢献する製品を提供してきました。子どもを対象とした環境教育にも長年取り組んでいます。そこで、約20カ国にわたるNGKグループの拠点でグローバルに展開する新たな環境教育コンテンツを検討します。

チーム・中京テレビ

あなたの真ん中へ。



中京テレビは、SDGs達成に向けた取組を推進するため、国連が世界の報道機関に対し協力を呼びかけている「SDGメディア・コンパクト」に今年1月加盟し、ニュース情報番組、特別番組などを通して、地域におけるSDGsへの取組を発信しています。SDGsへの取組をより広く訴えるため、ネットと番組を連動した企画を検討します。

チーム・ホーユー



ホーユーは、「いつまでも、美しく、健康でありたい」という人々の想いに寄り添い、追求し続けています。ヘアカラーを軸とした頭髮関連商品を通じて、「美」「活力」「心の豊かさ」を提供するとともにCO₂排出量削減や4Rの推進に取り組み「地球環境の保全」にも努めています。サステナブルな未来に向けてヘアカラーでも環境も美しくする新たな企画・サービスを検討します。

チーム・コミュファ光



中部テレコミュニケーションは、インターネットサービス「コミュファ光」提供のほか、リアルタイム動画配信コンテンツ「名古屋水族館ライブ」の運営などを通じて、地域社会とのつながりを大切にしています。地域の皆様が高速インターネット通信を使用し、環境課題の解決や持続可能な社会にできることを考えるキッカケになる“親子で学べるコンテンツ”を企画します。

課題
issue

アパレル業界から食品ロス問題の解決に立ち向かうブランド「FOOD TEXTILE」の効果的なPR方法を検討せよ

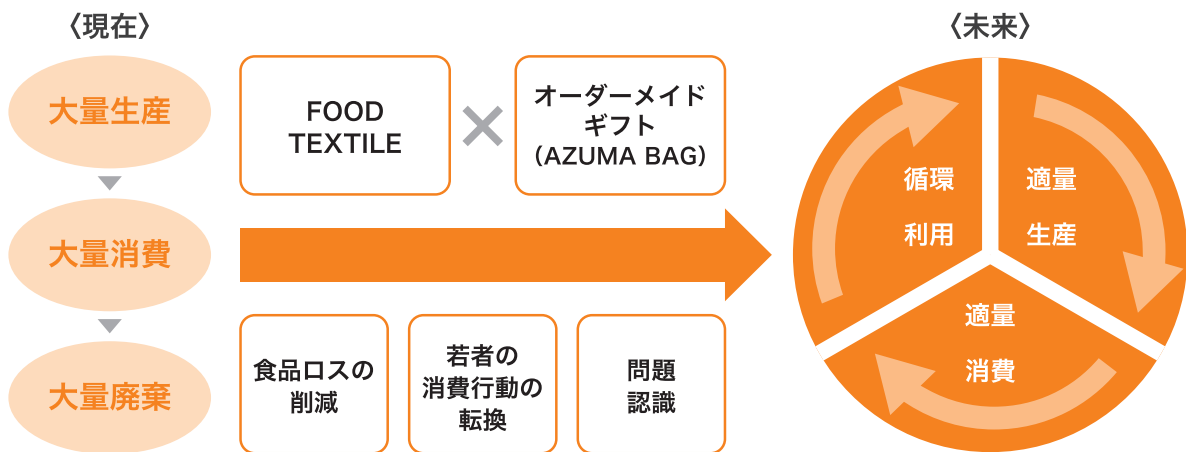
創業180年のライフスタイル商社・豊島で、2015年にプロジェクトの産声を上げた「FOOD TEXTILE」。カット野菜の切れ端や形の不揃いな規格外の食材などを食品関連企業や農園から買い取り、それらを染料にして生地を染め上げるサステナブルなプロジェクトブランドです。食品とアパレル業界の架け橋として食品ロスの削減に貢献し、より良い地球環境を創造していく「FOOD TEXTILE」を効果的にPRする方法を検討します。

解決策
solution

**人から人へ未来につなげる
オーダーメイドギフト**

課題解決の方向性
【考え方】

課題であるFOOD TEXTILEのPR方法を考えることに留まらず、ファッション業界の大量生産・大量消費・大量廃棄といった根本的な問題を同時に解決するオーダーメイドギフトを提案します。



現在のアパレル業界の負の循環を解決するために、FOOD TEXTILEをオーダーメイドギフトという形で提案する。エシカルな商品は値段が高いため、ある程度高くても買ってもらえるギフトに着目した。買った人が継続して購入するようにポイントカードを同封する。ギフトならではの温かみを感じられるように、イニシャル刺繍や、贈り手に対するメッセージカードをサービスとする。食品ロスの削減、ファッション業界に対する問題認識により、ファストファッションをよく利用する若者の消費行動の転換が期待される。最終的なゴールとして、アパレル業界の問題を正の循環に変えることができる。

持続可能な
社会への
ポイント

- ①受注生産型であるオーダーメイドギフトにしたことにより、PRに止まらずファッション業界の負の循環を変える解決策となる。
- ②オーダーメイドギフトにより、若者の消費行動を変えることができる。
- ③FOOD TEXTILEが浸透すれば、食品ロスの削減に貢献できる。
- ④特に、伝統文化であるあずま袋を現代的に生まれ変わらせたAZUMABAGをギフトにすることにより、伝統を継承することができる。

12 つくる責任
つかう責任



**研究員
メッセージ**
message

私達は今回の活動を通して豊島さんと意見を交わすことで、ファッション業界の問題について詳しく学ぶことが出来ました。それによって、頂いた課題に応えるのみでなく、ファッション業界全体の課題を解決したいと考えるようになりました。「オーダーメイドギフト」を通して人から人への繋がりや温かみを感じてもらいたいです。

チーム・豊島

金城学院大学 3年 加藤 瑠夏 椋山学園大学 3年 池田 雪乃
愛知学院大学 2年 松村 美咲 南山大学 1年 平田 くるみ
愛知県立大学 1年 皿井 楓

ファシリテーター

NPO法人アスクネット 顧問 白上 昌子



課題

issue

持続可能な社会に貢献する
新たな暮らしのサービスを検討せよ

サーラグループは、「私のまちにSALA、暮らしとともにSALA」を掲げ、個人の暮らしからまちづくり、社会インフラの整備など地域の暮らしに至る領域で、お客さまの安全、安心、快適を実現する商品・サービスを滞ることなく提供することを目指しています。持続可能な社会の実現に貢献し、暮らしを豊かにするサービスを検討します。

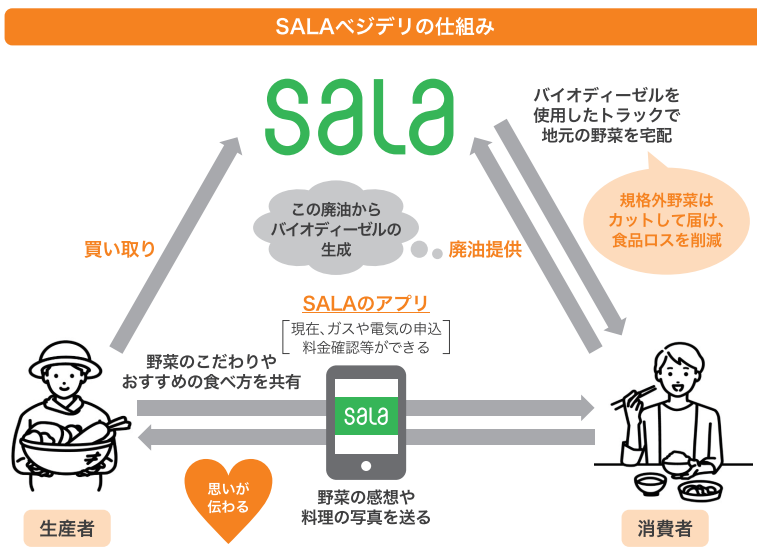
解決策

solution

野菜の宅配サービス「SALAベジデリ」

課題解決の方向性
【考え方】

三河地区の特色である“農業”と地域の暮らしに密着した事業を行うサーラグループの強みを活かし、まちの人々と共に持続可能な社会に貢献していくサービスを検討した。



特徴

●ベジマイル

→値が小さいほど環境に良い“フードマイレージ”という指標にちなんで、ベジデリを利用することにマイルが減り、減れば減るほどお得になる制度。地産地消の効果を楽しくわかりやすく伝える。



●農家と地域の人のコミュニケーション

→SALAアプリでのやり取りや地元農家での収穫体験を通し、三河地区の野菜の魅力を伝える。

環境に配慮しながら、街の人々が
住み続けたいと思えるような
“新たな暮らしのサービス”を提供

持続可能な
社会への
ポイント

- 地産地消やバイオディーゼル事業を促進することでCO₂の排出を削減し、地球温暖化の抑制に貢献する。
- カット野菜や規格外野菜を提供することで食品ロスの削減に繋げる。



研究員
メッセージ
message

このSALAベジデリが、まちの一人一人が楽しく前向きに環境問題についての関心を深めるきっかけとなり、さらに、地産地消や住み続けたいと思える街づくりに貢献していくことで、地方がより一層活性化していくことを期待します。

チーム・SALA

南山大学 3年 大澤 茉奈 南山大学 3年 佐藤 優衣
南山大学 3年 佐野 悠花 南山大学 3年 丹羽 博美
南山大学 3年 松本 かなめ

ファシリテーター

南山大学 南川 和充



課題

issue

お客様がコメダでくつろぎながら、 環境や社会に貢献できる商品やサービスを提案せよ

コメダでは、品質向上や収穫量増加のための技術支援をしているオラム社からコーヒー豆を調達することで、お客様がくつろぎながら飲む一杯のコーヒーがコーヒー生産者の豊かで安定した暮らしにつながる取組を行っています。この取組に並ぶような、コメダに来るだけで無意識に環境や社会に貢献できる商品やサービスを検討します。

解決策

solution

コメダで「脱プラ」だ！

課題解決の方向性 【考え方】

コメダだからこそできる、そしてお客様が無意識に環境に貢献できる企画を検討。また、若者へのアプローチとして、「楽しい」「おしゃれ」といった要素を取り入れ、一人一人の意識改革と持続的な環境活動への参加を図る企画を提案します。

コメダで使用する プラスチックをゼロに！

アクション

- プラスチック製の包装・容器を環境配慮型に切り替える
- テイクアウトの包装・容器を環境配慮型にする



効果

- フルサービスのコメダで使われるプラスチックが少ないからこそ徹底的にゼロを目指す
- CO₂の大幅な削減につながる
- お客様のくつろぎを大切にしながら、無意識に環境に貢献できる

若者の感覚を取り入れた「新しいくつろぎ」の形

コロナ禍で
TAKEOUTの
需要UP



楽しくおしゃれに♪ おしゃピク

アクション

- おしゃピク (おしゃれピクニック) を企画し、外でのくつろぎも提供!
- Instagram投稿



効果

楽しみながら脱プラに取り組み一人一人の意識が変わる!

おしゃれでサステナブルな
くつろぎの空間をデザインし、
楽しむことで環境に貢献!

持続可能な 社会への ポイント

- 包装・容器をプラスチック製から環境配慮型に変えることで、低炭素社会の実現に貢献できる。
- コメダの知名度と若者の拡散力を活かし、楽しみながら脱プラをはじめとする環境活動に対する意識を高めることができる。



研究員 メッセージ message

チーム・コメダ

愛知大学 2年 野邊 有菜 愛知教育大学 2年 真砂 晃希
中京大学 1年 石田 綾香 東海学園大学 3年 成田 亜美
名古屋経済大学 3年 駒田 竜汰

ファシリテーター

フィットラボ代表 松本 イズミ (環境カウンセラー)



課題
issue

2030年を笑顔であふれる世界に！ 笑って学べる、SDGs体験型プログラムを検討せよ

吉本興業は、国際社会の一員としてSDGsに賛同し、「笑顔につなげる活動を通じて、より良い国際社会の実現に貢献・応援」をコンセプトに、SDGsをテーマにした漫才や啓発動画で、SDGsに関心を持って頂く活動に取り組んでいます。環境問題、社会問題など、SDGsが掲げる17の目標を、分かりやすく楽しく、笑って学べる体験型プログラムを検討します。

解決策
solution

“笑い”を基軸としたSDGs体験型プログラムの開発 次世代のSDGsリーダーを養成する

課題解決の方向性
【考え方】


吉本興業の有する「笑い」という強みを、SDGs体験型プログラムに反映させることで、子どもたちの意識を涵養することを目指す。次世代を担う子どものリーダーシップを育成し、持続可能な社会の実現に貢献する。

〈SDGs体験型プログラムの提案〉

- 小学生(高学年)を対象とした、1コマ・45分以内で完結する複数のSDGs体験型プログラムを制作した
- SDGs体験型プログラムでは、「リーダーシップ」を意識し、吉本興業に所属する芸人とともにプログラムを提供する
- “笑い”を基軸とすることにより、「誰一人取り残さない (No one will be left behind)」の概念を体現する

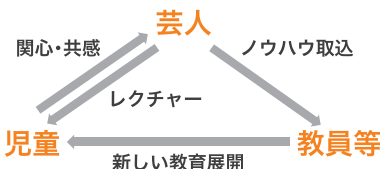
理想  みんなで実行するしかないでしょ！
とはいえ...
Think Globally, Act Locally!
Leave No One Behind!

現実  何の話？
行動変容につながらない

目標  みんなでやろう！
人々を引きつける力
効率的なマネジメント能力

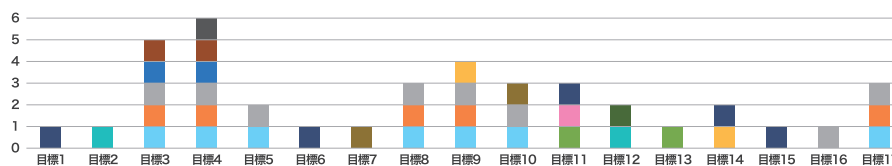
〈SDGs体験型プログラムの例示：一流から学べ！“ツッコミ王”〉

- Lecture** 芸人が「ツッコミのコツ」を伝授する
- Action** ツッコミあてはめクイズに挑戦する
- Challenge** 児童のツッコミについて表彰を行う



〈制作したコンテンツとSDGsの関係〉

- 出張野球教室 with 運動神経悪い芸人
- よしもと英会話クラブ
- 一流から学べ！“ツッコミ王”
- 海のごみで万華鏡工作体験
- 地獄の人カメリーゴランド
- ごみでなまはげをつくらう！他多数!!



持続可能な
社会への
ポイント

- SDGs体験型プログラムでは、17目標・169ターゲットに対応し、「学び」と「笑顔」を基軸としたリーダーシップを育む
- 持続可能な社会の実現に向けて、多様な意見を傾聴する力や、複眼的な思考力を醸成する事が重要であり、体験により学びを深める
- 体験を通じた学びは、「責任感を持ち、自由な発言をすること」や、「人と人が支え合うこと」にも関係し、現代社会において求められるサーバントリーダーシップの醸成にもつながる



研究員
メッセージ
message

コロナ禍により、テレワーク化や授業のオンライン化など対面で接する機会が減少しています。こうしたなかで、「人と人」のコミュニケーションは改めて重要になっています。笑顔であふれる、楽しい2030年をともに、創っていきましょう。



チーム・よしもと東海

東海学園大学 3年 中村 祐介 東海学園大学 3年 西崎 晴基
東海学園大学 3年 野呂 柊弥 東海学園大学 3年 東本 郁也
東海学園大学 3年 丸山 翔平

ファシリテーター

東海学園大学 井上 和久

課題
 issue

日本ガイシと持続可能な未来を考える、 グローバルな環境教育プログラムを検討せよ

「100年前から、SDGs発想。」日本ガイシは、1919年の会社創立より一貫して暮らしや産業の発展を支え続けるとともに、地球環境の保全に貢献する製品を提供してきました。子どもを対象とした環境教育にも長年取り組んでいます。そこで、約20カ国にわたるNGKグループの拠点でグローバルに展開する新たな環境教育コンテンツを検討します。

解決策
 solution

「クロコくんの世界地図」 ～日本ガイシとつながる世界～

課題解決の方向性
 [考え方]

日本ガイシでの企業研究と世界規模のアンケート結果から私たちの環境意識は身の回りに限定されていると感じた。そこで、世界中の人々をつなぎ、多様な環境問題を共有することで、その解決に向けた行動を促す環境教育プログラムを企画した。

Step 1 環境と日常生活とのつながり

身の回りの環境の状況、課題、取り組みを写真や動画で撮影する。

Step 2 人とのつながり・過去と現在のつながり

撮影した写真、動画を世界中に共有

参加者が撮影した写真、動画から、身の回りの環境と世界中の環境を比較する。

世界各国で語り部の会を開催

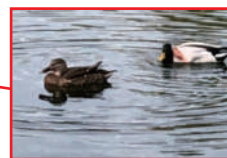
自身の経験や身の回りの環境について話して下さる地域の方や、お店などを日本ガイシが募り、世界各国で語り部の会を開く。



© NGK・kero/dwarf



身の回りの環境や語り部の会の様子をWebサイト上で共有!


Step 3 参加者みんなで未来へとつなぐ

<Step 1>、<Step 2>で生まれた人々のつながりが、参加者に当事者意識をもたらし環境問題解決に向けた行動を促す。

**持続可能な
社会への
ポイント**

- 世界マップを通して、様々な国の人とつながることができる。
- 様々な地域の環境の状況や課題を知ることができる。
- 「つながり」から参加者の多様な考え、客観的な視点を養う。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう


**研究員
メッセージ**
 message

私たちチーム日本ガイシは、100年前からSDGs発想である日本ガイシのもとで、これからの100年に向けて何が出来るかを考えました。このプログラムによって、環境意識のつながりが広がればうれしいです。

チーム・日本ガイシ

名古屋大学 4年 加藤 優基 中部大学 3年 北山 侍穂
愛知淑徳大学 2年 汪 雅雪 愛知学院大学 2年 成田 彩乃
南山大学 2年 平井 杏奈

ファシリテーター

愛知淑徳大学 秋田 有加里



課題
issue

SDGsをテーマに、視聴者に訴えかける
ネットと連動したテレビ番組を企画せよ

中京テレビは、SDGs達成に向けた取組を推進するため、国連が世界の報道機関に対し協力を呼びかけている「SDGメディア・コンパクト」に今年1月加盟し、ニュース情報番組、特別番組などを通して、地域におけるSDGsへの取組を発信しています。SDGsへの取組をより広く訴えるため、ネットと番組を連動した企画を検討します。

解決策
solution

学校生活をアニメ化し、すべての人にSDGsを
～学校はSDGs17のゴールすべてとつながっている～

課題解決の方向性
【考え方】

学校生活での実話をアニメ化したテレビ番組をネットと連動することで、誰もが主体的に参加でき、SDGsを身近に感じてもらえる番組を企画した。

アニメ ミライさん 学校の中に潜んでいる問題をミライさんと考えるアニメ

チュウキョ！解決したい！と思ったシーンで決定ボタンを押してね！みんながボタンを押した回数と同じ数のSDGsマークが下から出てくるよ！

※画面はイメージです。

アニメを観る→dボタンで参加する HPを見たくなる

ミライさん(未来から来た妖精) しあわせを考えるきっかけをくれる

アバター アニメ「ミライさん」に登場するかも！
服の色を17色からえらんでね！

顔 目 髪 服

しあわせの地図

あいちSDGs学校
サポート教室が
つくられました。
2021.12.12

みんなのSDGsの取り組みを投稿してね！
投稿する! HPだよ!

アバターをつくる・HPで取り組みを知る アニメを観たくなる



持続可能な
社会への
ポイント

【テレビ】×【学校】×【ネット】

【学校】を軸とした企画により、〈アニメ〉・〈dボタン参加〉・〈アバターづくり〉・〈SDGsの取り組みの共有〉が相互に関わり合い、【テレビ】と【ネット】をつなぎ、誰もがSDGsを考えたくなるきっかけをつくります。私たちの企画がきっかけとなって、一人ひとりが“考え始める”ことが、誰一人取り残さない社会の創造に貢献します。

4 質の高い教育を
みんなに



研究員
メッセージ
message

チーム・中京テレビ

愛知教育大学 3年 上野 光 愛知教育大学 3年 清水 咲良
愛知教育大学 4年 田中 瑞基 愛知教育大学 3年 日比野 愛生
愛知教育大学 4年 細見 夏樹

ファシリテーター

愛知教育大学 大鹿 聖公



課題
issue

人も環境も美しく。サステナブルな未来に向けてヘアカラーが貢献できる企画・サービスを検討せよ

ホーユーは、「いつまでも、美しく、健康でありたい」という人々の想いに寄り添い、追求し続けています。ヘアカラーを軸とした頭髮関連商品を通じて、「美」「活力」「心の豊かさ」を提供するとともにCO₂排出量削減や4Rの推進に取り組み「地球環境の保全」にも努めています。サステナブルな未来に向けてヘアカラーで人も環境も美しくする新たな企画・サービスを検討します。

解決策
solution

まだ使う事の出来るヘアカラー剤で身体が不自由な方や認知症の方にヘアカラーリングを行うサービス

課題解決の方向性
【考え方】

自分で施術出来ない人がいる点とヘアカラー剤がまだ使えるにもかかわらず廃棄されている点に着目した。そこで、全ての人がヘアカラーを楽しむことができ、廃棄削減にも繋がるサービスを企画した。

企画名: IOO (アイ・オー・オー)

I rodori(彩り)
O share(おしゃれ)
O moi (思い)

- 彩りとおしゃれを思いのままに楽しんでほしい
- ホーユー創立100周年と次の100年に向けてこの2つの思いが込められている



誰一人として取り残さず
人も環境も美しくする

- 1 ホーユーが美容室に協力を呼びかける
- 2 リニューアルや販売中止になった使用可能な商品を活用する
- 3 福祉施設とホーユーでパートナーシップを結ぶ
- 4 安心してカラーリング出来るようにパッチテストを実施する
- 5 美容師の方々が福祉施設でカラーリングする
- 6 活動内容をホーユーのSNSやホームページで広報する

持続可能な
社会への
ポイント

- 廃棄されてしまう、まだ使えるカラー剤を利用することで廃棄量ゼロの実現に繋がる。
- 誰一人として残さず全ての人に健康と生きがいを提供する。
- ホーユーと福祉施設がパートナーシップを結ぶことで地域活性化や新しい関係性の構築に繋がる。



研究員
メッセージ
message

今回この活動を行う中で、「ヘアカラーを活用し人や環境に貢献できるサービス」を提案することに苦労しましたが、学部が異なるからこそ、多様な視点で解決策を検討することが出来ました。このIOOというサービスで全ての人がヘアカラーを通しておしゃれを思いのまま楽しむことができ、またヘアカラー剤のロスゼロが実現される未来なることを願っています。

チーム・ホーユー

名古屋商科大学 3年 高須 市華 南山大学 3年 木野下 真優
名古屋市立大学 2年 加藤 綾 中部大学 3年 数井 日向
東海学園大学 3年 柴田 桂吾

ファシリテーター

アルト・ファシリテート代表 葛原 祐季



課題

issue

高速回線を活用した、親子で学べる
サスティナブルなコンテンツを検討せよ

中部テレコミュニケーションは、インターネットサービス「コミュファ光」提供のほか、リアルタイム動画配信コンテンツ「名古屋港水族館ライブ」の運営などを通じて、地域社会とのつながりを大切にしています。地域の皆様が高速インターネット通信を使用し、環境課題の解決や持続可能な社会にできることを考えるキッカケになる“親子で学べるコンテンツ”を企画します。

解決策

solution

SDGsと親子をつなぐデジタル絵本
～SDGs達成に繋がる行動や選択が「当たり前」な社会に～

課題解決の方向性
【考え方】

幼い子が成長していく中で、SDGsにかかわる行動選択が【当たり前】にできるように！さらに、ctcの強みでもある通信技術を組み合わせ、親のニーズを満たし、子供が楽しめる知育要素を取り入れたコンテンツを検討した。

デジタル絵本

親子(子:5歳)を想定

SDGs目標達成に重要なことは、**思いやり+問題意識**と考える
コンテンツを通じて、これらを育みながらSDGsについても親子で学べるものとなっている

〈具体案〉

①絵本のイラストが変わる

【ポイント】

- 声をかけたり、触ったり、“ふーっ”と息を吹きかけたり、自分も絵本の物語の登場人物になれる。
- 音や動きがあり、小さな子供でも楽しめる。
- イラストに変化が加わることで、絵本の世界をより深く楽しめる。



②選択により結末が変わる

【ポイント】

- 読者自身でストーリーを選択できるため、自然と考えて絵本を読む。
→主体的に絵本に向き合えます。(想像力・問題意識を育む)
- SDGsが達成された未来・達成されなかった未来を結末にする。
→なぜこの結末になったかを考えるきっかけになる。
(考える力・問題を意識する力・思いやる心を育む)



③SDGsに繋がる道徳的な概念を育ませる内容

【ポイント】

- 道徳的とは、他人を思いやること、差別しないこと、ポイ捨てしないことなどのSDGsの基本となっている大切な規範である。
- 世界の危機や問題を知らせることでSDGsの大切さを訴える書籍が多いが、私たちは幼い子がこれから成長していく中で、当たり前SDGsに関わる行動をとっていきけるような親子で学べるコンテンツにした。



持続可能な
社会への
ポイント

- 思いやりや問題意識などを育むことで、目標17を中心に子供の心へSDGsの根を張る。
- 全目標を物語の題材にすることで幅広い思いやりと問題意識を育む。
- 幼児期の早期段階でコンテンツを通じ、これから生きていく中で、自然とSDGsに関わる行動・選択に繋げる。



研究員
メッセージ
message

企画立案から制作までを行うという貴重な経験をさせていただきました。その中で、提案する難しさ、自分たちの思いを相手に伝える難しさを学びました。このデジタル絵本を通して、子どもたちがSDGsに触れ、思いやりの気持ちを育むきっかけになることを願っています。

チーム・コミュファ光

愛知工業大学 3年 池之上 瑛音 愛知工業大学 3年 小嶋 透眞
愛知工業大学 3年 長谷川 美波 愛知工業大学 3年 古澤 宏太

ファシリテーター

愛知工業大学 山田 裕昭



これまでに参加いただいた研究員所属大学及びパートナー企業

研究員所属大学(26大学)	パートナー企業(33社・団体) ※参画当時の企業名を使用	
	年度	パートナー企業
愛知大学、愛知学院大学、愛知教育大学、愛知県立大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、金城学院大学、椋山女学園大学、星城大学、大同大学、中京大学、中部大学、東海学園大学、名古屋大学、名古屋学院大学、名古屋学芸大学、名古屋経済大学、名古屋工業大学、名古屋産業大学、名古屋商科大学、名古屋女子大学、名古屋市立大学、南山大学、日本福祉大学、人間環境大学、名城大学	2015	アイシン精機(株)、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)※1、東邦ガス(株)、(株)三井住友銀行、ユニー(株)※2
	2016	※1:2015年度はソニーイーエムシーエス(株) ※2:2015年度はユニーグループ・ホールディングス(株) 中部国際空港(株)、(株)ナゴヤキャッスル、(株)Mizkan Partners、(株)三菱東京UFJ銀行、名鉄観光サービス(株)
	2017	イケア・ジャパン(株)IKEA長久手、新日鐵住金(株)名古屋製鐵所、JAグループ愛知、スターバックスコーヒージャパン(株)、(株)デンソー
	2018	(株)伊藤園、花王(株)、積水ハウス(株)、トヨタ車体(株)、中日本高速道路(株)
	2019	東京海上日動火災保険(株)、東レ(株)、凸版印刷(株)、三井不動産商業マネジメント(株)らぼーと名古屋みなとアクルス、(株)メニコン
	2020	(株)サーラコーポレーション、中京テレビ放送(株)、中部テレコミュニケーション(株)、日本ガイシ(株)、吉本興業(株)
	2021	(株)コメダ、豊島(株)、ホーユー(株)

研究所の活動を
ご覧いただけます。



公式Webページ

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyosustaina-ken.html>



公式Twitter

@kagayake_aichi

持続可能な開発目標 (SDGs) とは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。愛知県は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの取組を積極的に推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

